

## 突然の京都市聚楽保育所の廃止条例案

### 京都市は、保護者の切実な声に応えよ！

京都市は京都市聚楽保育所の廃止条例案を5月市会に提出。保護者や職員に対しても、事前の説明もなく、5月11日の京都市議会の議案発送日に聚楽保育所を廃止することを知らせ、衝撃となりました。議案は5月18日に本会議に提案され、26日に教育福祉委員会で審議し、5月31日の委員会、6月1日本会議において、採決されます。議会には、保育団体や保護者から「**慎重な審議を求める**」陳情がだされており、日本共産党京都市会議員団は京都市に対して、聚楽保育所の廃止は市の公的責任の放棄であると指摘し撤回を求めると共に、継続審議を他会派によびかけました。

### 短期間に運動が広がっています。他会派議員に継続審議の呼びかけを！

廃止案が発覚後、すぐに保護者や保育関係・労働組合の皆さんによるアンケートや署名活動が取り組まれ、議会には陳情提出と各会派の議員を回り、保護者の方が徹夜で作成された「**中京区周辺の保育状況と今後のマンション計画の地図**」を手にも慎重な審議を求められました。ツイッター等SNSでの発信や21日には『廃止撤回を求めるウェブ集会』（京都民報30日号で紹介）も開催される等、廃止撤回を広く呼び掛ける運動が広がっています。

日本共産党市会議員団も、18日に「**聚楽保育園の存続を求める**」声明を発表し、26日の教育福祉委員会の審議では共産党の議員4人全員が質疑に立ち、保護者の不安の声や聚楽保育所の果たしてきた役割等を紹介し、徹底的に論戦しました。当日朝からは保護者や保育関係者の皆さんがプラカードを持って、スタンディングアピールもされました。（写真）

#### <問題点>

- ・2016年度から、保育継続を前提に、民間移管の方針の下、公募を3度も行い、本年4月まで意向調査も行っていただけなのに、突然廃止方針に。その理由も保育需要は満たしていると途中入所は無視。今後兄弟入所ができないことに。
- ・新規募集は停止し、毎年度、子どもが卒所し、26年度に現0歳児一人が卒所して、廃止するという提案は、異年齢、友達もいない保育に。
- ・障害児の受け入れ等、公立保育園のセーフティーネットの役割については「民間保育所でも受け入れている。公立の役割はない」と強弁。等々・・・課題山積です。

